

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表: 令和7年3月28日 / アンケート期間: 令和5年2月17日～令和5年2月28日 / 回答者数(児童数)12名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	4	1
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11		1
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	3	1
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2	1
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	12		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	3	2
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2	1
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	5

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	5
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	3	1
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	1
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	1
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	3	1
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	3	2
22	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか。	8	3	1	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11		1

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11		1
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11		1
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	2	1

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

公表：令和7年3月28日 / 回答者数(職員数) 6名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 職員の配置人数は適切である。	6			
	2 日々の活動や支援のためのスペースは利用定員に対して十分に確保されている。	4	2	・系列の教室と協力して体制を整えている。必要に応じてパーテーションを使用して環境設定している。 ・使い終わった物はすぐに元に戻すようにしている。その日使う物のみ出すよう心がけている。 ・一対一で対応が必要なお子さん、状況に応じて配置することができている。	・自由時間にも運動スペースを作れるとより良くなる。 ・物が増えてきたこともあり自教室の扉つきの部屋の床に物を重ねて置かざるを得ない状況になっているので、棚を設置できればもう少し整理整頓できるのではと感じている。 ・スタッフ間で子どもにあった環境を共通認識する。
	3 保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの特性に合わせた環境になっている。	5	1	・教室内をくぎって遊びの設定をし、内容を変えることでお子さんに合った環境を考えている。 ・棚や壁の位置で落ち着く機の配置をしている。	
	4 保育・生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっている。	6			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画できている。	6			
	6 職員の資質の向上を行うために、研修を行なっている。	6		・職員会議の際に研修を行うことで、スタッフで共通認識がもてている。 ・職員会議で児童についてや業務内容の擦り合わせができています。	・職員研修で発達についての深い学びの研修があるとより良い。 ・問題が会った際にどうしていくのか、スタッフみんなの意見を出し合っていきたい。 ・ヒヤリハットや事故報告などデータを数値化や共有して安全な職場にする取組をしていきたい。
	7 保護者向け自己評価表により保護者の意向等を、また事業所自己評価表により職員の意見等を把握する機会を設けており、それらの内容を業務改善に繋げている。	6			

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	8 適切に支援プログラムが作成、公表されている。	6			
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されている。	6			
	10 個別支援計画には児童発達支援ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の観点から、支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	5	1		
	11 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	6			
	12 活動プログラムの立案をチームで行っている。	6			
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	6		・お子さんに必要な設定を話し合い決めることができています。	・もっとたくさんの遊びに発展していけるよう、意見を出し合いたい。 ・常勤の職員がリーダーを交代しながら活動内容を決めることで同じ内容のプログラムも改善点や発見が日々ある。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで活動プログラムや個別支援計画に反映している。	5	1		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	6			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	6			
	17 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	6			
18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、見直しを行なっている。	6				

関係機関や保護者との連携	19	地域の母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関(区役所等)と連携した支援を行っている。	6		・HUGの活動記録だけでは伝えきれないことなど降園時に保護者にお伝えしている。	・保護者への現状の伝え方にはまだまだ学ばなくてはいけないことが多い。保護者の気持ちを汲んで連携をとれるようにしていく。 ・保護者からのヒアリングの共有など日々の業務に埋もれないように工夫する。
	20	保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との併行利用や移行に向けた支援を行っている。また、その際、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	6			
	21	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	6			
	22	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等と連携し、支援に活かしている。	6			
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、健康面や発達の状況、課題について共通理解を持っている。	6			

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	24	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	6		・参観を取り入れたことで、どのように過ごしているのか、活動の様子もわかりやすくお伝えできた。 ・HUGでのコメントやメッセージ機能、活動記録や保護者へののお便りなど、また紙でのお知らせなどしている。
	25	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている。	6		
	26	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	5	1	
	27	保護者会や行事を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けている。	6		
	28	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	9		
	29	定期的に活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信している。	6		
	30	個人情報の取扱いに十分留意している。	6		
31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	5	1	・日々の信頼感がなくてはお伝えしたことにも不審感を募らせてしまう。一言一言寄り添いながら物事を伝えていく。 ・計画をなるべく早くお伝えして解答をスムーズにもらえるようにする。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	32	防犯対策、安全対策、感染症予防、非常災害時の対応方法についてマニュアルを策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	6		・研修を行っている。 ・ヒヤリに対してどのようなことがあったか毎月振り返り、共有している。 ・避難訓練で避難場所実際にしている。
	33	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。	5	1	
	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	6		
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	6		
	36	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	5	1	
	37	子どもの安全確保に関して、保護者との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、保護者等へ周知している。	6		
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	5	1	
	39	虐待防止について職員研修を確保する等、適切な対応をしている。	6		

事業所内での分析	分析結果を踏まえた改善目標の設定
(保護者評価・事業所評価のずれ・共通点の分析) 【保護者評価・事業所評価のずれ】 ・活動には十分に広さがあると感じているが保護者の方にはそのことが伝わりにくい。 ・個人情報について 【共通点の分析】 ・保護者への説明、情報共有について保護者もスタッフも今よりも情報共有する場が必要だと感じている。	○改善目標 ・今後も参観や面談時に映像によって保護者にお伝えしていく。 ・自由遊びのスペースの使い方は子どもの様子によって様々な使い方があることを今後も検討していきたい。 ・写真の使用について契約時にお伝え、確認をしているが、新年度を迎える際に改めて確認をするなどの対応を検討 ・その日の活動で何がねらいとなるのか、活動設定時からなるべく詳しくお伝えしていく。 ・活動の様子だけではなく、お子様、ご家庭での困り感に必要な助言等についてもHUGに記載したり、相談の場を設けたりできることを積極的にお勧めしていく。